

和歌山商工会議所経営発達支援計画 令和 6 年度事業評価委員会議事録

① 開催日時:令和 6 年 7 月 26 日(金)14:00~15:00

② 会 場:和歌山商工会議所 4 階第三会議室

③ 出席者:<委 員>

(一社)和歌山県中小企業診断協会 会長 濱田智司

(一社)和歌山銀行協会 常務理事 林寛久

(公財)わかやま産業振興財団 専務理事 三龍正人

和歌山県 商工労働部 商工振興課長 高井廉之

和歌山市 産業交流局 産業部長 前島一仁

和歌山商工会議所 専務理事 田中一壽

<事務局>

和歌山商工会議所 企業支援部長 野田浩史

企業支援部次長 根木一輝

企業支援部参事 関本禎孝

経営相談課長 中谷恵理子

経営相談課 田上裕己

④ 議 事

令和 5 年度経営発達支援計画事業 下記の各項目に関して順に中谷経営相談課長から説明。

<Ⅰ.経営発達支援事業の内容>

- 1.地域の経済動向調査に関すること
- 2.経営状況の分析に関すること
- 3.事業計画策定支援に関すること
- 4.事業計画策定後の実施支援に関すること
- 5.需要動向調査に関すること
- 6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

<Ⅱ.地域経済の活性化に資する取組>

- 1.わかやま商工まつりの開催
- 2.ふるさと愛運動の取り組み
- 3.IT・IOT を活用した生産性向上支援
- 4.若者の地元就職のための U ターン事業

各委員からの意見を下記に記載。

- ①評価として「D」はあるものの、商工会議所全体としては本事業も含め、様々な面で十分に取り組んでいる。
- ②経営計画を策定した事業所に対し専門家派遣等の制度を活用するよう一層促す必要がある。
- ③無料経営相談会に来た相談者に対し、(一社)中小企業診断協会が経営計画策定の支援をすることも可能で

ある。

④ゼロゼロ融資が終わり、マル経融資はニーズがあるのではないか。

→新型コロナウイルス感染症が流行した際に限度額まで借りたため、新規融資を受けられない事業所も増えている。当所でも、借入実績のある事業所に借入のニーズを確認しているが、資金需要が弱いように感じている。今後も積極的に声掛けを行う。

⑤「売上の増加」や「利益率の向上」は企業努力や外部環境の影響が大きく、会議所の支援が直接的に上記の成果に結び付かない可能性がある。経営発達支援計画策定の際に勘案した方が良いのではないか。

→策定にあたっては国のガイドラインに沿って数値目標を設定しているため、目標に達していないが、次回計画策定については国と協議する。

⑥「補助金・助成金申請支援事業者数」の項目について、和歌山県再構築チャレンジ補助金の件数は含まれているのか。→同補助金は含まれていない。

⑦本事業を実施している人数は。→約 20 人。しかし専従ではない。

⑧出展する商談会は食品に限られるが、それは成果が見込まれるからか。

→食品に限っている訳ではない。現経営発達支援計画はギフトや食品などを取り扱う商談会に的を絞り策定し、東京・大阪の 2 都市で組み合わせて出展している。